

平成 30 年度を迎えて

このたび、西村修平前院長の後任として、公立みつぎ総合病院の院長を拝命いたしました。その重責に身の引き締まる思いですが、全職員と共に地域に信頼されるみつぎ総合病院事業体（以下、みつぎ総合病院）をより一層盤石にしてゆく所存ですので、何卒宜しくお願い致します。

日本全国に「地域包括ケアシステム」の構築が叫ばれて数年になりますが、未だにその解釈さえばらばらであり、その一部を見て「地域包括ケアシステム」を語られている有識者や現場の方々もあられます。

「地域包括ケアシステム」とは具体的にいったい何を指すのかを知るために、「地域包括ケアシステム」発祥の地であり先進地でもあるみつぎ総合病院に全国から様々な立場の人々が視察に来られます。その件数は年々増加しており、最近では自国の将来を見据えて韓国や台湾を中心としたアジアの国々からも「地域包括ケアシステム」を学びに来られています。それほどみつぎ総合病院は注目されています。ある意味でみつぎ総合病院の「地域包括ケアシステム」の行く末は、少子高齢化の進む日本を含めた国々の将来を占うと言っても過言ではないでしょう。

「地域包括ケアシステム」は年齢や状態（病気でも健常でも）あるいは場所など関係なく住民の皆さまの人生・生活を地域で支えていくシステムです。つまり、急性期医療も含めたさまざまな医療、要支援・要介護などの介護、多様な福祉、そして健常者も含めた保健（予防）などのすべてが対象になります。また、在宅、医療機関、介護施設、福祉施設を問わず、地域のどこでも対象になります。そのためには、専門職による多職種連携や保健・福祉を中心とした行政の啓発・誘導が重要ですが、それ以上に地域の皆様の地元愛、地域力の参画なくして「地域包括ケアシステム」は成り立ちません。専門職・行政・地域住民の連携があって真の「地域



病院長
沖 田 光 昭

包括ケアシステム」のネットワークが構築され、本当に安心して暮らせる地域となります。

みつぎ総合病院は「地域包括ケアシステム」の一翼を担っています。今後も地域の皆さまに「みつぎ総合病院があって本当に良かった」と言っていただけのように全職員が一丸となって進んでまいります。引き続き、皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



平成 30 年度 新採用職員

痙縮（けいしゅく）とは

脳卒中後遺症に多くみられる運動障害（機能障害）のひとつで、筋肉が緊張し手足が動かしにくくなったり、勝手に動いてしまう状態のことです。痙縮による姿勢異常が長く続くと、筋肉が固まり関節の運動が制限され（これを拘縮（こうしゅく）といいます）るようになるため、日常生活に支障が生じてしまいます。リハビリテーションの障害となることもあるため、痙縮に対する治療が必要になります。

- ①手指が握ったままの状態になり、開こうとしても開きにくい
- ②肘が曲がる
- ③足先が足の裏側のほうに曲がってしまう

痙縮の症状



①



②



③

ボツリヌス療法（ボトックス®注射）とは

「ボツリヌストキシン」という薬を筋肉に注射し、痙縮をやわらげる治療法です。ボツリヌストキシンはボツリヌス菌（食中毒の原因菌のひとつ）が作り出す天然のタンパク質で、筋肉を緊張させている神経の働きを抑える作用があります。ボツリヌストキシンを注射すると筋肉の緊張をやわらげることができます。（ボツリヌス菌そのものを注射するわけではありませんので、感染する危険性はありません。）

- **脳卒中後の後遺症、手足の筋肉のつばりに効果があります。**

ボツリヌス療法によって、着替えなどの日常生活の動作が行いやすくなることが期待できます。

- **保険が適応されます。**

ボツリヌス療法は下記の疾患に対して厚生労働省から認可されています。

痙性斜頸（けいせいしゃけい）：首や肩の筋肉の張りによる異常姿勢

小児脳性まひ患者の下肢痙縮に伴う尖足（せんそく）

脳卒中などに由来する手足のつばり

重度のワキの多汗症

ボツリヌス療法で期待できる効果

- **日常生活動作が行いやすくなる**

手足の筋肉がやわらかく、動かしやすくなることで、日常生活動作（ADL：Activities of Daily Living の略で食事・更衣・移動・排泄・整容・入浴など生活を営む上で不可欠な基本的行動のこと）が行いやすくなります。

No.40

脳卒中後の手足の痙縮に 対するボツリヌス治療

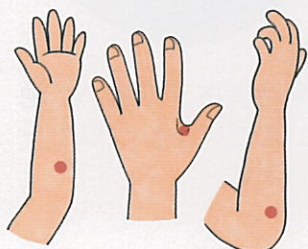


脳神経外科
出 端 亜由美

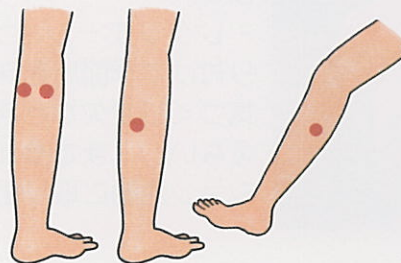
- リハビリテーションがしやすくなります。
- 関節が固まって動きにくくなったり変形する拘縮の 予防が期待できます。
- 痙縮による痛みを緩和します。
- 介護する方の負担が軽くなることが期待できます。

ボツリヌス注射部位

痙縮の見られる筋肉に注射します。注射部位は患者さんによって異なりますが、一度に数ヶ所注射する場合があります。



手（上肢）の主な注射部位



足（下肢）の主な注射部位

ボツリヌス療法 スケジュールと内容

1回のボツリヌス療法の効果持続期間は通常3～4ヵ月間です。その後は徐々に効果が消えていきます。治療を止めると痙縮は元の状態に戻ってしまうため、年に数回のボツリヌス療法を行う必要があります。（治療間隔や治療期間は個人差があります。）

当院での基本的なボツリヌス療法のスケジュールは以下のようなものです。

	1日目：入院 (木曜日)	2～7日目 (金～水曜日)	8日目：退院 (木曜日)
午前		訓練・自主トレ (約60～90分) (3～4単位)	機能評価 診察
午後	入院・診察・検査 機能評価 ボツリヌス施注	訓練・自主トレ (約60～90分) (3～4単位)	退院

レクリエーション

認知症棟「やすらぎ」「くつろぎ」では、毎日のレクリエーションと合わせて月1回おたのしみ会を行っています。多職種による音楽演奏やカラオケ、習字、おやつ作りなどの活動は利用者さまに好評です。

スイカ割りや職員による演芸は多くの利用者さまがいつしよに楽しさを分かち合うことができたいへん喜ばれています。

会場から、「え～よ。」と満面の笑顔で拍手されたり、時には涙を流される方もいらっしゃいます。

レクリエーションにはホールを飾り付けて季節感を味わっていただく雰囲気づくりが欠かせません。これからも利用者さまの笑いが絶えない、「また参加したい」と思っているレクリエーション活動に取り組んでいきたいと思っています。



みつぎの苑
認知症棟

地域密着型特別養護老人ホーム「ふれあい」となって ～地域の皆さんと一緒に～

特別養護老人ホーム「ふれあい」ユニット棟（20床）は、平成29年3月28日から地域密着型となりました。地域密着型施設は、入居者のニーズによりきめ細かく応えること、地域交流を図り地域に開かれた施設となることが求められています。

今年度は9月に御調中高合同運動会に行きました。生徒たちの姿を見て、「懐かしいな」、「よう頑張ってじゃ」と拍手しながら応援をしました。10月には社会貢献活動として小学生と一緒に花壇の花の植え替えを行ったり、施設の秋祭りには御調中央小学校の金管バンドが演奏に来ていただいたりと積極的に地域と交流を図っています。地域の皆さんと一緒に過ごす時間は普段の生活では味わえない特別な喜びがあると感じます。

これからも皆さんのところへ出かけたり、施設行事に招いたり地域との交流の場を設けていきたいと思っています。



地域密着型
特別養護ふれあい

認知症初期集中支援チーム

認知症初期集中支援チームとは、認知症の人やその疑いのある人・ご家族に早期に関わり、早期診断・対応ができるよう支援を行うチームのことです。認知症に対する国家戦略である新オレンジプランの視点のひとつ、適時・適切な医療・介護などの提供を目的に、ご本人の病院受診やサービス利用、ご家族への支援などを包括的に・集中的に支援していきます。私たち尾道北認知症初期集中支援チームは医師・看護師（介護支援専門員）・理学療法士の3名で構成されています。



対象となるのは、在宅で生活されている40歳以上で、次の①～③のいずれかに該当する方です。

- ①認知症診断を受けていない人または治療を中断している。
- ②介護サービスを利用していない、または利用を中断している。
- ③何らかのサービスは利用しているが、認知症による症状が強くてどのように対応したらよいか困っている。

支援期間は概ね6か月となっています。

症状は進行具合によって変化します。状況によって必要な医療・介護サービスが異なりますので、まずは自宅を訪問し、お話を聞かせていただければと思っています。その状態に応じて、かかりつけ医、民生委員、ケアマネジャーやその他の支援者と協力しながら支援方法を決定していきます。

相談窓口は尾道市北部地域包括支援センターです。認知症の人やご家族などを支え、また支える人をつないでいきたいと思っておりますので気軽にご相談ください。

平成30年4月1日から病棟再編をおこないます。

公立みつぎ総合病院		変更前	変更後
病床区分		許可病床数	許可病床数
一般病床	一般病棟	146床	139床
	緩和ケア病棟	6床	6床
	小計	152床	145床
療養病床	回復期リハビリ病棟	65床	72床
	医療療養病棟	23床	23床
	小計	88床	95床
合計		240床	240床

受診で見つけよう! 未来のあんしん!

がん検診



おおよそ、日本人の2人に1人が
がんにかかっています。



そして、3人に1人ががんで
亡くなっています。



ところが、5割~7割の人が
がん検診を受けていません。

出典：「国民生活基礎調査」（厚生労働省）より

健康な体を維持するためには、
定期的なチェックが不可欠です。
とくにがんは、自覚症状のない早期
に発見することが重要です。



定期的ながん検診の受診が早期発見・早期治療につながります！

尾道市民のみなさまへ 健診のご案内

御調地区集団健診	場 所	健診日	申込締切
ヘリカルCT 肺がん検診	御調保健福祉センター	6月 8日(金)	5月24日(木)
御調文化会館での集団健診	御調文化会館	7月26日(木)	5月31日(木)
		7月27日(金)	
公立みつぎ総合病院での集団健診	公立みつぎ総合病院	8月~10月	
レディース検診(乳がん・子宮がん検診)	御調保健福祉センター	12月19日(水)	11月7日(水)

【問い合わせ先】 御調保健福祉センター 0848-76-2235

院内音楽会(平成30年度)

開催場所 玄関ホール
10時30分～11時00分



月 日	月 日
4月 16日(月)	10月 9日(火)
5月 2日(水)	11月 5日(月)
6月 7日(木)	12月 25日(火)
7月 6日(金)	1月 10日(木)
8月 7日(火)	2月 14日(木)
9月 19日(水)	3月 1日(金)

歯科衛生士のユニフォームが変わりました!

歯科診療室

「看護師さん」と病棟を歩いているとよく声を掛けられます。ピンクのエプロンはしていますが白衣を着ているのでみんな同じに見えるのでしょう。患者さまやご家族にとって間違いのない声掛けです。これまで、歯科衛生士の白衣はマイナーチェンジがありましたが今回フルモデルチェンジをしました。テレビドラマで病院の中を颯爽とカッコよく歩いている今流行りのスクラブタイプです。これまで以上に活動的です。これからは、「歯科衛生士さん」と声を掛けられるように頑張ります!



職員の紹介

看護師

今井 由子

公立みつぎ総合病院に勤務して、3年目になります。私が所属している2病棟は、急性期病棟です。



毎日が慌ただしく過ぎていきます。時には心が折れてしまいそうになることもあるのですが、周りのスタッフに支えられ、また患者さまの笑顔や感謝の言葉に元気をもらい頑張っています。周りの人の優しさに感謝しながら毎日を過ごしています。

これからも感謝の心を忘れずに、患者さまに心のこもった看護が行えるよう頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。

看護師

内田 研吾

公立みつぎ総合病院に勤めてもうすぐ3年になります。以前は回復期リハビリテーション病院に勤務していました。



地域包括ケアシステムを学び始めたとき、公立みつぎ総合病院がその先駆けとなった病院であることを知りました。自分も是非病院の一員となり働きたいと思い就職しました。現在は内科中心の病棟で働いています。地域包括ケアシステムについてしっかりと理解し患者さまや地域住民の皆さまから信頼される看護師を目指し日々頑張っています。これからもどうぞよろしくお願いします。

言語聴覚士

掛田 彩加

昨年4月から言語聴覚士として勤務しています。三次市で生まれ、山間地域で育ったせいか、就職する際に、地域医療に熱心に取り組んでいる公立みつぎ総合病院の存在を知り、働きたいと思うようになりました。現在は尾道松江道の開通もあって、実家のある三次市から通勤しています。日々、勉強の毎日ですが、多職種の連携のもとに仕事をしていく中で、専門知識をそれぞれが共有することで、いろいろなものの見方を学んでいます。



知識・経験とも、まだまだ未熟ですが、一つひとつのことをしっかり学んでいき、患者さま、ご家族に信頼される言語聴覚士になれるように、自分の人間性を成長していきたいと思います。今後ともよろしくお願いします。

介護福祉士

川内 かづみ

特別養護老人ホーム「ふれあい」に介護福祉士として勤務しています。介護福祉士として働き始めて3年になります。



初めは分からないことや不安や大変なことばかりでした。今も日々これで良いのだろうかと思う毎日ですが、諸先輩方や他職種のスタッフの方に丁寧に指導して頂き勤務することが出来ています。利用者さまやご家族と関わらせて頂く中で様々な事を学ばせて頂いています。これからも、利用者さまの思いを傾聴し優しさの心を持ち日々のケアを心がけたいと思います。まだまだ、知識・経験共に未熟ですが、今後とも、ご指導のほどよろしくお願いします。

医師異動のお知らせ

新任医師



内科医長
さ さ き とし お
佐々木 俊 雄

「ふれあいの里」を訪れたときに見かけた公立みつぎ総合病院で循環器医の求人があるのを知ったのがご縁で、この4月より当院に勤務させていただくことになりました。地域のみなさまに安心して受診していただける医療を提供できるように心がけたいと思います。何とぞよろしくお願いします。



内科医師
やま もと しょうたろう
山 本 翔太郎

4月から公立みつぎ総合病院に赴任いたしました山本です。約3年前に短い期間でしたが、当院で勤務していました。久しぶりに御調で仕事が出来てなつかしく思います。地域医療に貢献していきたいと思いますので、よろしくお願いします。



外科医師
おお つか ひろ ゆき
大 塚 裕 之

この度、赴任して参りました大塚裕之と申します。消化器外科を専門としています。微力ではありますが、当地域の医療に貢献したいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

研修医



医科研修医
はっ とり
服 部

しん 慎



医科研修医
なか もと けん た
中 本 健 太



医科研修医
たけ なか
竹 中

めぐみ 萌



歯科研修医
いま ど えい じ
今 戸 瑛 二

退任医師

院長 にし おら しゅう へい (4/1付 名誉院長・顧問)
西 村 修 平

産婦人科医長 ま の たか ふみ (4/1付 産婦人科医師 嘱託)
眞 野 隆 文

リハビリセン
所 長

医科研修医

あら まき たか ひさ
荒 牧 貴 久
うち き とし お
内 木 敏 雄

内科医師

医科研修医

きよ と しゅう
清 戸 翔
ほり ぐち たか のり
堀 口 崇 典

外科医師

歯科研修医

せ お しん ご
瀬 尾 信 吾
にい どの けい た
新 殿 慶 太

基 本 理 念

地域包括ケアの実践と地域包括ケアシステムの構築
及び住民のための病院づくり

公立みつぎ総合病院科別診療割表

平成 30 年 4 月 1 日改定

TEL0848-76-1111

	科 目 / 曜 日	月	火	水	木	金	土	備考
午前	内 科	一 診	渡 辺	第2・4 今村	渡 辺	今 村	渡 辺	(予約診療)
		二 診	大 谷	大 谷	大 谷	井 上	井 上	
		三 診	井 上	佐々木	(循環器内科) 須 澤	山 本	佐々木	
		四 診	奥 本	山 本	(神経内科) 広島大学	(腎臓内科) 奥 本	山 本	
		五 診	佐々木		今 村			
	小 児 科	上 村	上 村	上 村	上 村	上 村		
	外 科	大 塚	菅 原	河 合	松 本	菅 原		
	栄養ケア・ステーション	平 井						
	整形外科 (リウマチ科)	一 診	林	林	林	石 井	茂 木	(予約診療)
		二 診	茂 木	広島大学	坪 河	広島大学	坪 河	
		三 診	河 合					
	脳 神 経 外 科	松 岡	広島大学	西 村	松 岡	出 端	広島大学 (脳血管内治療専門外来) (第1・第3)	(予約診療)
	産 婦 人 科	眞 野	眞 野	眞 野	眞 野	眞 野		
	泌 尿 器 科	上 田	上 田	上 田	上 田	上 田		
	眼 科		広島大学	広島大学		広島大学		
	耳鼻いんこう科		広島大学	広島大学		広島大学		
	精 神 科	塚 原	塚 原	塚 原	塚 原	塚 原		(予約診療)
	皮 膚 科	大 原	大 原	大 原	大 原	大 原		
	リハビリテーション科	林 石 井	林	坪 河	石 井	坪 河		(予約診療)
	透 析 科	奥 本	奥 本	奥 本	奥 本	奥 本	担 当 医 (第1・第3)	
	歯 科	占 部 日 浅 手 島 柄	占 部 日 浅 手 島	占 部 日 浅 手 島	占 部 日 浅 手 島 名 原 (第2・第3・第5)	占 部 日 浅 手 島	第1. 日浅 第3. 手島 広島大学 矯正歯科 (第1・第3)	
午後	緩和ケア外来	田 中						(予約診療) 14:00~16:00
	禁 煙 外 来			大 谷				(予約診療) 14:00~16:00
	よろず相談外来					春 間		(予約診療) 13:00~16:00
	小 児 科 (予 防 接 種)	上 村 14:00~15:30		上 村 14:00~15:30				(予約診療)
	耳鼻いんこう科		子ども外来 15:00~16:30			子ども外来 15:00~16:30		
	精 神 科	物忘れ外来			物忘れ外来			(予約診療)
	歯 科	柄	手 島	手 島	占部 日浅 (第1・第4) 名原 (第2・第3・第5)	手 島		(予約診療)

(休診日) 日曜日、祝日、第2・4・5土曜日、12月29日~1月3日

(診療受付時間) 午前8時00分~11時30分

(診療開始時間) 午前8時30分~(但し眼科・10時00分~)

ご意見、ご感想をお聞かせください

TEL 0848-77-0955 FAX 0848-77-0956

E-mail: tiiki@mitsugibyouin.com

ホームページは「みつぎ病院」で検索

患者さま並びに地域の皆さまと共に作成したいと考えております。ご要望をお待ちしております。

発行：尾道市立総合医療センター

公立みつぎ総合病院 広報誌編集委員会